

千葉大学医学部附属病院で原発性肺がんと異型腺腫様過形成(前がん病変)の診療・手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月1日

呼吸器外科

呼吸器外科では、原発性肺がんおよび前がん病変と、その背景となる慢性呼吸器疾患(COPD や間質性肺炎など)に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2015年よりおこなっております研究「生体試料による肺癌遺伝子変異と治療効果の関連性の検討」に参加された方

1. 研究課題名

「原発性肺癌とその発症母地となる慢性呼吸器疾患における生体試料を用いた包括的オミクス解析による新規病態解明および治療標的の探索」

2. 研究期間

2026年承認日～2030年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

がんや慢性呼吸器疾患の病気の原因をより詳しく調べるために、手術などで採取された組織(検体)を用いて、遺伝子やタンパク質などを網羅的に解析します(オミクス解析といいます)。これにより、病気の新しい診断方法や治療ターゲットを見つけることを目的としています。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた試料・情報は、共同研究機関(千葉県がんセンター、筑波大学、群馬大学)や外部解析機関(かずさDNA研究所など)に提供され、解析が行われます。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料： 病理診断終了後に当院病理部に保管されている手術検体（ホルマリン固定パラフィン包埋検体：FFPE）の一部（薄切切片）。

情報： 診療録（カルテ）に記載されている年齢、性別、病名、病期（ステージ）、治療内容、治療効果、生存期間、再発の有無など。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木 秀海

【共同研究機関】

- 千葉県がんセンター研究所（研究責任者：河津 正人）
- 筑波大学医学医療系（研究責任者：宮本 崇史）
- 群馬大学生体調節研究所（研究責任者：吉成 祐人）

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 教授 鈴木 秀海

043（222）7171 内線 5464